

## ～2学期がスタートをきりました～

今年は例年以上に厳しい暑さが続きました。夏休みの8月8日には、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。「巨大地震注意」も発表され、しばらくは緊張しながらの日々を過ごされたことと思います。

加えて、先週末は、台風10号が大分県を通過しました。風雨激しく、29日には避難指示も出された強い台風でした。学校前を流れる石丸川もいつもの穏やかさとは一転、濁流の勢いがすさまじく、恐怖を覚えたほどです。

近年、自然災害が各地で発生しており、またこの夏の地震や台風の通過で、日頃の備えの大切さを改めて感じた方も多いと思います。

かけがえのない命を守るためにも、いつせまって来るかわからない災害や危機への備えを、常日頃から確認し合うことの大切さを痛感しています。

さて、8月26日(月)、37日間の夏休みを終え、子どもたちが久しぶりに登校しました。児童用玄関で子どもたちを迎えてあいさつを交わす中で、子どもたちの元気な様子が伺え、安堵するとともに、再会のうれしさもこみ上げてきました。式後の児童朝会では、夏休み中の思い出として、「いとこと遊びました」「夏休みの宿題を計画立ててきちんと取り組みました」「お皿洗いを担当し、お皿洗いが好きになりました」等の子どもの発表があり、子どもそれぞれに充実した夏休みを過ごすことができたことが伝わってきました。

いよいよ2学期が始まりました。2学期は充実の学期とも言われ、運動会等の大きな行事があるとともに、学習にも最適な時期となります。

今年度は、学校教育目標として、“進んで考え行動する”ことを軸に取組を進めています。充実の2学期に向け、1学期同様、学習や生活及び行事等にその姿が見られ、一層前進するよう、教職員一丸となって取り組んでまいりたいと存じます。

保護者や地域の皆様、2学期も引き続きご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## ～「ぼくが します!!」～

「6年生の子どもたちが、当番決めを自分たちでどんどん進めていったんです!」と、6年担任が、うれしそうに

私に知らせてくれました。

2学期が始まると、各教室では、新たに当番を決めることとなります。当番は、係活動と違って、掃除や黒板けし等、しなければならないことを、子どもたちが役割分担して取り組むものです。6年生の教室でも同様で、学級活動の時間に早速当番を決めたようです。

当番決めを話し合いを進めるにあたり、担任が、「誰か司会進行をしてくれませんか?」と子どもたちに投げかけると、すぐに、「ぼくがします!!」、さらに、「黒板を貸してください」と元気よく返す子どもの声があがったそうです。もちろん担任は、「どうぞ」と答えます。そして、担任に温かく見守られる中、6年生の子どもたちは、黒板を使いながら自分たちでどんどん話し合いを進め、当番を決めていったのだそうです。

担任は、これまでも学級活動の話し合い活動を中心にしながら、子どもたちに任せる場を大事にし、意図的に仕組んできたようです。そして、この日の自分たちで進んで動いていく子どもたちの姿を見て、“教師の子どもたちに任せ、待つ姿勢”がどんなに大切かを、改めて感じたそうです。

ここにも、「進んで考え、行動する」子どもの姿があり、最高学年らしいスタートが切られています。

## ～実りに向けた“げんき米”～

6月の田植えから、約3か月が経とうとしています。お米の先生の安東さんも常に苗を見守ってくださり、順調に苗が育っています。

8月27日(火)、4～6年生が田に生えている草を取る作業を行いました。水が張られた田に素足で入り、草を一本一本刈っていきます。丁寧に作業を行う子どもたちの姿がありました。

苗は、台風10号の強風に負けず、元気にまっすぐ空に向かって育っています。この台風に負けない“げんき米”の収穫が大変待ち遠しい限りです。



## ありがとうございました

運動場に目を向けると、子どもたちが一輪車を練習する付近の草が、いつの間にかきれいに刈られています。どなたかが、子どもたちのために、また力を貸してくださったようです。大変ありがたいばかりです。

職員に尋ねてもどなたかわからず、もし情報をお持ちの方は、学校に提供していただけると大変ありがたいと思います。